



G 8 環境大臣会合における環境配慮について-1

5月24日～26日に兵庫県神戸市においてG8環境大臣会合を開催するに当たり、会合そのものを可能な限り環境に配慮したものとするため、地元自治体（兵庫県、神戸市）及び会場（神戸ポートピアホテル等）、関係企業等の協力を得つつ以下の取組を進めます。

1. 低公害車及びバイオ燃料の利用

- ・各国の大臣をはじめとする会合参加者の空港等の送迎には、自動車メーカー等の協力を得つつ最新型の低公害車（燃料電池自動車、水素自動車、ハイブリット自動車、その他最新燃費、最新排ガス規制適合車）を導入します。
- ・また、燃料として、環境省委託により大阪府が実施している「エコ燃料実用化地域システム実証事業」において利用が推進されているバイオエタノール3%混合ガソリン（E3）を利用することにより、CO₂低減を進めます。
- ・その他、会合周辺のサイドイベントにおいて地元自治体が提供するシャトルバス（天然ガス車）には、神戸市が推進する「こうべバイオガス」を燃料として利用します。

<参考>

- ①燃料電池自動車、水素自動車は、水素をエネルギー源とし走行過程においてCO₂を一切排出しない次世代自動車で、通常の車両を利用する場合と比べ、関西国際空港・神戸間（片道、約73km）で、1台につき約15kgのCO₂が削減できます。
- ②E3は、食糧と競合しない建設廃木材を原料とするバイオエタノールを3%混合したガソリンであり、バイオエタノール混合分のCO₂排出を削減できます。
- ③「こうべバイオガス」は、下水処理の過程で発生する消化ガスのメタン濃度を98%まで上げ、都市ガスとほぼ同等の品質で天然ガス自動車燃料として活用できるバイオ燃料のことです。

2. 自然エネルギーの活用

- ・カーボン・オフセットの取組の一環として、会合に伴って使用する電気の量に相当するグリーン電力証書を購入することにより、自然エネルギーの活用を図ります。
- ・北海道洞爺湖サミットでも活用が予定されている雪氷冷房装置^(注)を使用します。

(注)北海道内の高校生が製作した簡易雪氷冷房装置をメディアセンターに設置し、実際に使用する予定です。

3. 省エネルギー対策

- ・会場及び会合参加者の宿泊先である神戸ポートピアホテルで利用される熱（給湯等）については、コージェネレーション（熱電併給）システムが採用されており、大幅な省エネルギー・CO₂の削減が実現されています。
- ・参加者にノーネクタイ・ノージャケット等服装による調節を求めながら、会場及び客室等における過度な空調を抑制します。照明についてもこまめな消灯に努めます。
- ・参加者に提供する食事にはできるだけ地元食材を使用する「地産地消」の取組により、食材輸送に係るエネルギーの削減に努めます。

4. 廃棄物の削減

- ・会合全体を通じてゴミの分別、3Rの推進により廃棄物の削減に努めます。
- ・会合参加者及びスタッフの食事に関しては、使い捨ての皿やカップは使用しないこととし、箸やおしぼりについても使い捨てでないものを使用します。
- ・会議中の飲料水の提供に当たっては、ペットボトルでなく、水差しを利用します。
- ・参加者に提供する食事にはできるだけ地元食材を使用する「地産地消」の取組により、食材輸送に係るエネルギーの削減に努めます。





KOBE

Environment Ministers Meeting 2008

G 8 環境大臣会合における環境配慮について-2

5月24日～26日に兵庫県神戸市においてG8環境大臣会合を開催するに当たり、会合そのものを可能な限り環境に配慮したものとするため、地元自治体（兵庫県、神戸市）及び会場（神戸ポートピアホテル等）、関係企業等の協力を得つつ以下の取組を進めます。

5. 環境配慮型製品の利用

- ・ 会合参加者（報道関係者を含む）に提供されるコーヒーは、生物多様性保全と生産者である小規模農家の生活向上に貢献するコーヒー豆^(注)を利用します。
- ・ また、会合参加者が使用する筆記具として、3月に開催されたグレンイーグルズ対話においても使用された千葉県産の「バイオマスプラスチックボールペン」（間伐材等を原料とした木質プラスチック製品）を配布します。
- ・ その他、会合で使用する備品・消耗品については、グリーン購入法適合製品など、可能な限り環境に配慮した製品を使用します。

（注）コーヒーは、豊かな森林生態系を利用する日陰栽培農法が可能な作物であり、適格な土地利用や環境に配慮した農法の導入により、生物多様性保全に貢献しながら、生産者の収入を生み出すことができる。今回提供されるのは、中米最大の雲霧林「ラ・アマスタッド保護区」（パナマ）周辺で国際環境NGO・コンサベーション・インターナショナルが実施する生物多様性保全と生産農家の生活向上を目指すプロジェクトに参加している小規模農園のコーヒーであり、神戸に本社のあるUCC上島珈琲株式会社がプロジェクトの趣旨に賛同し輸入したものである。

6. 会合参加者への呼びかけ等

- ・ 各国の代表、報道関係者等すべての会合参加者に対し、会合前及び会合期間中を通して、適正な空調（クール・ビズ）、こまめな消灯、ごみの分別回収、マイカップ等の持参、公共交通機関の利用など環境配慮の取組への協力を呼びかけます。
- ・ また、会合開催における環境配慮の取組について紹介する資料（パネル等）を会場に掲示しPRを図ります。

7. その他会場における環境配慮の取組

神戸ポートピアホテルは、今回の環境大臣会合開催を契機に、神戸市が進める地域版環境マネジメントシステムであるKEMS（神戸環境マネジメントシステム）をホテルとしては初めて取得し、「株式会社神戸ポートピアホテル環境宣言」を締結するなど独自の取組を進めています。

- ・ 参加者に提供する食事にはできるだけ地元食材を使用する「地産地消」の取組により、食材輸送に係るエネルギーの削減に努めます。

8. カーボン・オフセットの実施

上記の取組により会合開催に伴う温室効果ガスの低減に努めるとともに、それでもなお排出される温室効果ガスについては、それに相当する削減対策等により埋め合わせる「カーボン・オフセット」を実施します。

